

学校再編だより

中和小学校

— 第 4 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年10月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第3回中和小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

10月2日（月）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、中和小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、前回委員から意見のあった「小学校の広域統合」、「干潟地域の避難所」、「古城小学校の整備方針案」、「統合に向けた事前交流」について説明し、その後、中和小学校地域検討会議としての検討結果をまとめた報告書（案）について協議しました。

また、今回の意見交換では、統合に向けた要望事項について委員の意見を伺いました。委員からは「統合前の児童交流をもっとしてほしい」、「子どもが安全に過ごせる学校を作ってほしい」などの意見がありました。

（詳細は裏面に掲載）

今回の会議では、要望事項を取りまとめた報告書を最終確認することになります。

※萬歳小・古城小の地域検討会議においても古城小への統合に対して「賛成」で意見がまとまりました。



統合先となる古城小学校の校舎外観



古城小学校教室の様子

第4回会議開催予定 日時：令和5年11月6日（月）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

第3回中和小学校地域検討会議で出た主な意見・要望

委員から出た意見・要望を要約して掲載しています。

○干潟地域の3校で統合しても、今後20年以上は一定の児童数が確保できるのであれば古城小への統合に賛成。子どもたちの心に残るような学校になってくれれば嬉しい。

○災害時にもなるべく電気が消えないような対策をしてほしい。

○車と子どもがぶつからないよう、近くの田んぼを買い取って駐車場にするなど、子どもたちが安全な方法を考えてもらいたい。

○今回統合して、また次のことは次の時代の人がかかることだと思うので、古城小への統合でこのままスムーズに進めていけたらいいと思う。

○古城小への統合で賛成ということになったので、どんどん進めてもらいたい。

○共和・琴田を含んだ統合だと、元々の旭と干潟なのでうまくいかない可能性もあるため、干潟3校の統合で進めたらいいと思う。

○概ね賛成。

○子どもたちが安全に楽しく学校生活を送れることが一番いいと思うので、早めに進めてもらいたい。

○今後スケジュール的なものを示してもらえると、地域住民の方もさらに理解を深めて協力してくれるのではないかな。

○まだまだ解決すべきことは山積みだが、一つ一つやりながら統合に向けて協力していきたい。

○良いことも悪いこともあるのは当たり前だが、未来ある子どもたちのために統合に向けて頑張ってもらいたい。

○非常によくまとめられていて賛成。

○やっと一歩踏み出していい方向に向いている感じがしていいと思う。スクールバスの乗り場のことが少し心配だが、それもいい感じに決めてもらえたらと思う。

○子どもたちがピカピカの校舎でキラキラ目を輝かせながら学習する姿を想像すると楽しみになる。

○今回は3校の統合で進んでいくと思うが、中学校統合のタイミングで共和、琴田と5校で小中一貫でいけたらいい。

○古城小への統合は致し方ないと考えている。中学校は干潟地域に十分配慮した形で設置してもらいたい。

○スピード感を持って進めてもらいたい。

○古城小の整備に関して、車が通りやすいよう通路を広く取ってもらいたい。また防犯カメラの増設も前向きに検討してもらいたい。

○古城小との交流が少ないのもっとしてもらいたい。あと万が一土砂が来てしまった場合に備えて、近くに避難場所を買ったりして避難所を設けてもいいのではないかな。

○複式学級は避けたいと強く思っているため、早く統合を進めてもらいたい。バス停の場所など、どこか一つの地域が大変にならないように配慮してもらいたい。

○旧干潟町に小学校が一つは残ることを嬉しく思っている。未来に向けていいスタートを切れるような学校づくりをしてもらいたい。

○土砂災害対策も最大限の配慮をした上で、子ども達が安全に過ごせる学校にしてもらえればそれが一番だと思う。スピーディーに進めてもらいたい。

学校再編ホームページ

学校再編基本方針の説明動画

干潟地域小学校の説明動画

過去の学校再編だよ



【お問い合わせ先】 旭市教育委員会教育総務課学校再編室

TEL : 0479-85-8614 FAX : 0479-62-5855

Email : kyo-saihen@city.asahi.lg.jp

学校再編だより

萬歳小学校

— 第4号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年10月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第3回萬歳小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

10月4日（水）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、萬歳小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、前回委員から意見のあった「小学校の広域統合」、「干潟地域の避難所」、「古城小学校の整備方針案」、「統合に向けた事前交流」について説明し、その後、萬歳小学校地域検討会議としての検討結果をまとめる報告書（案）について協議しました。

また、今回の意見交換では、古城小学校へ統合することについて委員の賛否を再度伺いました。「子どもの気持ちや学習の充実を最優先に考えて賛成」、「萬歳から学校がなくなるのは寂しいがやむを得ない」などの賛成意見が多数あり（詳細は裏面に掲載）、全体の方向性としては、古城小学校への統合に「賛成」としてまとまりました。

次回の会議では、統合に向けての要望事項などを取りまとめていくことになります。

※中和小・古城小の地域検討会議においても古城小への統合に対して「賛成」で意見がまとまりました。



統合先となる古城小学校の校舎外観



古城小学校教室の様子

第4回会議開催予定 日時：令和5年11月7日（火）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

第3回萬歳小学校地域検討会議で出た主な意見

委員から出た意見を要約して掲載しています。

○場所的には干潟中学校辺りがいいとは思っているが、実際は難しいと思うので、古城小への統合で仕方がないと思っている。	○学校位置に関しては100%賛成とは言えないが、古城小以外に検討するような案がないということなので納得している。
○統合には賛成だが、古城小の場所については賛成反対どちらとも言えない感じである。	○保護者の方達の意見を聞いて、子どもたちに人数多く学べる機会を与えるためにも、古城小を活用して早く統合してもいいと思った。
○子どもの気持ちや学習の充実を最優先に考えて賛成。現状10名を下回る学年が出ている中で十分な教育が受けられるのか疑問。また車の場合、干潟中辺りも古城小もさほど時間は変わらないと思う。	○自分の子からいろんな子と交流して楽しかったという話を聞くと、早く多くの子達と一緒に学校生活を送れるようにしたほうがいいと思う。
○体育の授業だったり、チームを組んでの授業だったり、現状できないことが出てきているので古城小への統合で賛成。	○子どもたちの安全が一番大事だと思うので、危険性が一番低い古城小が一番いいと思う。
○現状で1学年10人切っている状況なので、早く統合して人数が多いクラスになったほうがいいと思う。	○もっと統合することをいろんな人に知ってもらったほうがいいと思う。あとスクールバスを安全に乗り降りできるのは当たり前で、その周りの道もしっかり整備してほしい。
○中学校と統合が重なると子どもたちも大変なので、早め早めに進めてもらいたい。	○人数が増えればそれだけいろんな影響を受けると思うので、なるべく早く統合の話を進めてもらいたい。
○統合場所に関して議論しているくらいなら、子どもたちが学校生活をよく送れるような議論をしたほうが建設的。	○萬歳地区に学校がなくなると町が廃れてしまうので、せめて干潟中辺りに学校ができないかと思っていましたが、保護者の方達がそういう考えなら賛成する。
○萬歳に何もなくなってしまうのはすごい寂しいが、子どもたちが第一で、保護者の方達の考えもわかったので、やむを得ないと考えている。	○3校で統合してもすぐにまた同じ状況になるので、先を見据えた判断が必要。また安全面として抜本的な土砂災害対策を示してもらわないと賛成できない。
○子どもたちが安全で安心できる学校生活を送るということが第一で、今回の古城小学校の整備方針案を見て少しは安心した。	○女子が10名、男子が2名という学年もあるので、子どもたちのことを考えたら同性で遊べる人数がいたほうがいいと思うので、スピード感を持って統合を進めてもらいたい。



学校再編だより

古城小学校

— 第 4 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年10月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第3回古城小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

10月6日（金）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、古城小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、前回委員から意見のあった「小学校の広域統合」、「干潟地域の避難所」、「古城小学校の整備方針案」、「統合に向けた事前交流」について説明し、その後、古城小学校地域検討会議としての検討結果をまとめた報告書（案）について協議しました。

また、今回の意見交換では、統合に向けた要望事項について委員の意見を伺いました。委員からは「スクールバスを検討してほしい」、「プールは改修して残してほしい」などの意見がありました。（詳細は裏面に掲載）

次回の会議では、要望事項を取りまとめた報告書を最終確認することになります。

※中和小・萬歳小の地域検討会議においても古城小への統合に対して「賛成」で意見がまとまりました。



統合先となる古城小学校の校舎外観



古城小学校教室の様子

第4回会議開催予定 日時：令和5年11月13日（月）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

第3回古城小学校地域検討会議で出た主な意見・要望

委員から出た意見・要望を要約して掲載しています。

○プールは改修してこのまま残してほしい。	○子どもが少なくて集団登校ができないという話を聞いたので、スクールバスは出してもらいたい。
○統合前の交流を1年生からもっと増やしてほしい。	○スクールバスもスムーズにやってほしい。
○古城小学区でも距離が遠い子どもたちにはスクールバスを検討してほしい。あと理科の授業で生き物を観察したりできるのでビオトープは残してほしい。	○車の入る時、出る時がとても見づらい状況なので、バスのロータリーを作るのは難しいのではないかな。
○プールは着衣水泳などもできるので必要だと思う。あとビオトープをなくすのであれば、代わりになるような場所があればいいと思う。	○遊具は安全なものをしっかりと作ってほしい。
○整備には結構な時間がかかると思うので、その辺も踏まえて早め早めの統合をお願いしたい。	○駐車を整備する際の出入口は車が簡単にすれ違えるように広めに作ってほしい。
○夏は暑いので体育館にエアコンの設置を早めにしてあげたほうがいい。通学は市のコミュニティバスも活用したらどうか。	○統合前の交流を低学年でもしてほしい。
○まだ中和・萬歳では仕方がないという考えの人が多いため、土砂災害対策の部分など、萬歳・中和の方にもっと理解してもらって説明をしていったほうがいいと思う。	○少子化対策を本格的にやるべき。統廃合だけではなく、人数が少ないなりの教育環境の整備をしている事例を調査研究してもらいたい。
○統合して教育内容の質が向上できるよう今後検討して、計画を立てていくことが必要だと考えている。	○子どもの出入口と車の出入口は分けたほうがいい。ビオトープは校舎裏の空き地をうまく有効活用する方法を考えたほうがいいのではないかな。
○学習環境や生活環境を整えてスムーズに統合できるよう、今できることを進めていきたい。	○安心安全に通えるということは大前提に、学校整備は優先順位をつけていろいろ考えてもらえればいい。
○保育園などの小さいお子さんから触れ合いなどをしていたほうがいいと思った。	



旭市立中和小学校学校再編地域検討会議 検討結果

(仮称)干潟地域小学校の統合について旭市立中和小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

「中和小、萬歳小、古城小を１校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」
とする基本方針に「賛成」とする。

【検討の経緯と理由】

中和小学校は、明治１０年の創立以来、時代の変遷の影響を受けつつも地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、中和地区のシンボルでもあり「地域と共に歩む幽学の里の小学校」をキャッチフレーズとして、地域に根付き親しまれた学校が閉校することは非常に惜しまれる。

一方で、昭和の時代には４００名以上いた児童数は令和５年度に９０名となり、さらに減少していくことが見込まれ、複式学級が発生することが現実的となってきた。

会議の中では、もっと広域的な統合や小中一貫校、少人数教育の有効性などの意見もあるほか、統合する学校を干潟地域に残したいといった様々な意見があった。

多くの意見を出し合った結果、多数の委員が複式学級は避けたいとの意見であり、多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に付けられるような統合を望んでいることから、子どもたちのことを最優先に考えた結果、統合は「賛成」または「やむを得ない」という意見が多数であったため、基本方針に「賛成」となった。

なお、統合にあたっては早期に実現するよう努めるとともに、安全で安心に生活できる学校環境の整備や保護者や児童の心配や不安が少しでも解消できるように進めるため、次のとおり要望があった。

【統合に向けての要望事項】

- ①統合に向けてスピード感をもって進めていただきたい。ただし、子どもたちの不安や悩みを少しでも取り除き、新しい学校生活がより良いものとなるよう、統合前の交流や個々に応じた心のケアなどの必要な活動を実施していただきたい。
- ②古城小学校の東側の法面について十分な対策を講じて、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ③学校の整備については、停電や土砂災害などを考慮した対策を講じていただきたい。また、児童の引き渡し等がスムーズに行えるように入出口や通路を整備していただきたい。
- ④安全に学校生活が送れるよう、防犯カメラや避難マニュアルなど必要な防犯対策を講じていただきたい。
- ⑤スクールバスの停留所は子どもが無理なく歩いて行ける距離で安全に乗降できる場所に設置していただきたい。
- ⑥中和小学校の跡地活用は、新たな地域の拠点として地域の活性化につながるような活用方法を地域とともに検討していただきたい。
- ⑦統合校は、干潟地域の子どもたちが、綺麗になった校舎でキラキラ目を輝かせながら学校へ通う姿を想像し、新しい学校として地域のみんなで作り上げるような一体感を醸成していただきたい。

【会議の概要】

第1回 (R5.7.4)	(1) 会議の目的と運営方法について (2) 旭市学校再編基本方針の概要について (3) 干潟地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (4) 意見交換
第2回 (R5.8.28)	(1) 旭市学校再編基本方針の策定経緯 (2) 小中一貫教育・義務教育学校について (3) 事例紹介（香取市立山田小学校） (4) 事例紹介（学校の跡地活用） (5) 意見交換
第3回 (R5.10.2)	(1) 検討結果の報告書（案）について (2) 意見交換
第4回 (R5.11.6)	(1) 検討結果の報告書（案）について

令和5年11月6日
旭市教育委員会

旭市立萬歳小学校学校再編地域検討会議 検討結果

(仮称)干潟地域小学校の統合について旭市立萬歳小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

「中和小、萬歳小、古城小を１校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」
とする基本方針に、「賛成」とする。

【検討の経緯と理由】

萬歳小学校は、明治７年の創立以来、時代の変遷の影響を受けつつも地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、萬歳地区のシンボルでもあり「ひとりひとりが輝く 萬歳っ子」を学校教育目標として、地域に根付き親しまれた学校が閉校することは非常に惜しまれる。

一方で、昭和の時代には５００名以上いた児童数は令和５年度に約８０名となり、さらに減少していくことが見込まれ、複式学級が発生することが現実的となってきている。

会議の中では、早く統合してほしいといった意見のほか、もっと広域的な統合、萬歳地区から古城小学校までの距離に対する懸念や小中一貫校などの様々な意見があった。

多くの意見を出し合った結果、子どもたちや保護者の現状を踏まえ、今後、多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に付けられるよう、子どもたちのことを最優先に考えた結果、統合は「賛成」または「やむを得ない」という意見が多数であったため、基本方針に「賛成」となった。

なお、統合にあたっては早期に実現するよう努めるとともに、安全で安心に生活できる学校環境の整備や保護者や児童の心配や不安が少しでも解消できるように進めるため、次のとおり要望があった。

【統合に向けての要望事項】

- ①統合に向けてスピード感をもって進めていただきたい。ただし、子どもたちの不安や悩みを少しでも取り除き、新しい学校生活がより良いものとなるよう、統合前の交流や個々に応じた心のケアなどの必要な活動のほか、先生の配置について、統合校でも子どもたちが知っている先生が残るように配慮をしていただきたい。
- ②古城小学校の東側の法面について十分な対策を講じて、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ③より魅力ある給食が提供できるように統合小学校または新しい中学校を整備する際に給食調理場を併設することを検討していただきたい。
- ④スクールバスの停留所は子どもが無理なく歩いて行ける距離で安全に乗降できる場所に設置していただきたい。また、停留所までの道路についても安全対策を講じていただきたい。
- ⑤萬歳小学校の跡地活用は、新たな地域の拠点として地域の活性化につながるような活用方法を地域とともに検討していただきたい。
- ⑥統合校は、心豊かに育つ萬歳の子どもたちが元気に学校に通う姿を想像し、新しい学校として地域のみんなで作り上げるような一体感を醸成していただきたい。

【会議の概要】

第1回 (R5.7.6)	(1) 会議の目的と運営方法について (2) 旭市学校再編基本方針の概要について (3) 千潟地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (4) 意見交換
第2回 (R5.8.29)	(1) 旭市学校再編基本方針の策定経緯 (2) 小中一貫教育・義務教育学校について (3) 事例紹介（香取市立山田小学校） (4) 事例紹介（学校の跡地活用） (5) 意見交換
第3回 (R5.10.4)	(1) 検討結果の報告書（案）について (2) 意見交換
第4回 (R5.11.7)	(1) 検討結果の報告書（案）について

令和5年11月7日
旭市教育委員会

旭市立古城小学校学校再編地域検討会議 検討結果

(仮称)干潟地域小学校の統合について旭市立古城小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

「中和小、萬歳小、古城小を１校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」

とする基本方針に、「賛成」とする。

【検討の経緯と理由】

古城小学校は、明治６年の創立以来、時代の変遷の影響を受けつつも地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、古城地区のシンボルでもあり「豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子の育成」を学校教育目標として、地域に根付き親しまれた学校が閉校することは非常に惜しまれる。

一方で、昭和の時代には６００名以上いた児童数は令和５年度に約１００名となり、すべての学年で１学年１学級となっている。

会議の中では、統合は時代の流れで仕方がないが土砂災害や通学路の安全対策を求める意見や、統合場所は中央地区に新築してほしいなど、様々な意見があった。

それぞれの意見を出し合った結果、多数の委員が統合は「賛成」または「やむを得ない」との意見であった。また、保護者アンケートの結果を尊重すべきとの意見もあった。

よって、子どもたちのことを最優先に考えると、多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に付けられる学校環境が必要と判断し、基本方針に「賛成」となった。

なお、統合にあたっては早期に実現するよう努めるとともに、安全で安心に生活できる学校環境の整備や保護者や児童の心配や不安が少しでも解消できるように進めるため、次のとおり要望があった。

【統合に向けての具体的な要望事項】

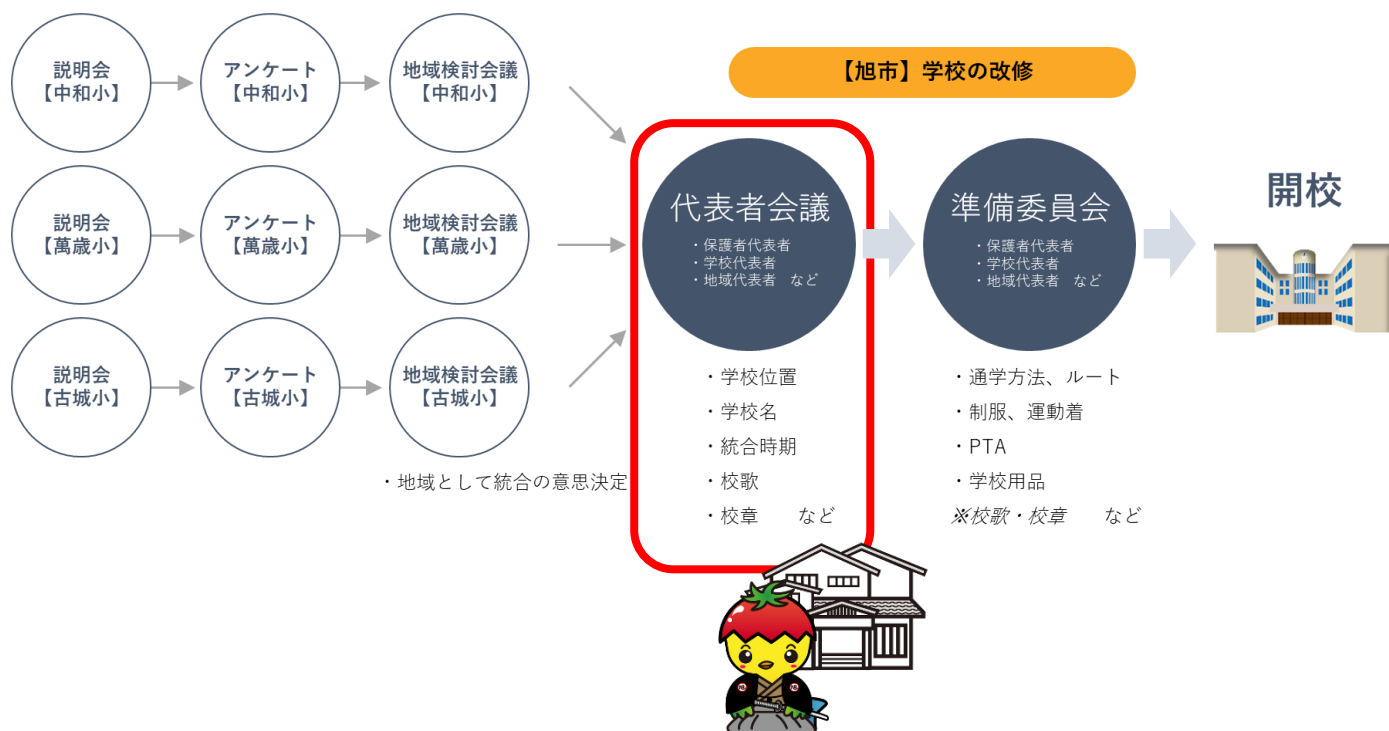
- ①統合に向けてスピード感をもって進めていただきたい。ただし、子どもたちの不安や悩みを少しでも取り除き、新しい学校生活がより良いものとなるよう、統合前の交流や個々に応じた心のケアなどの必要な活動を実施していただきたい。
- ②古城小学校の東側の法面について十分な対策を講じて、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ③古城小地区でも通学距離や集団登校が難しい地域などを考慮してスクールバスの導入を検討していただきたい。また、スクールバスの安全な運行ができるような業者選定のほか、バスロータリー等の整備は歩行者との動線を分けるなど、安全の確保を踏まえた整備をしていただきたい。
- ④既存のプールやビオトープは、児童にとっても大切な活動のひとつなので、今後も継続できるように検討していただきたい。
- ⑤近年の猛暑を考慮して体育館などにもエアコン設置を検討していただきたい。
- ⑥廃校となる中和小学校と萬歳小学校の跡地活用は、干潟地域の新たな拠点として地域の活性化につながるような活用方法を干潟地域全体で検討していただきたい。
- ⑦統合校は、新しい学校として地域のみんなで作り上げるような一体感を醸成していただきたい。

【会議の概要】

第1回 (R5.7.12)	(1) 会議の目的と運営方法について (2) 旭市学校再編基本方針の概要について (3) 干潟地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (4) 意見交換
第2回 (R5.9.4)	(1) 旭市学校再編基本方針の策定経緯 (2) 小中一貫教育・義務教育学校について (3) 事例紹介（香取市立山田小学校） (4) 事例紹介（学校の跡地活用） (5) 意見交換
第3回 (R5.10.6)	(1) 検討結果の報告書（案）について (2) 意見交換
第4回 (R5.11.13)	(1) 検討結果の報告書（案）について

令和5年11月13日
旭市教育委員会

代表者会議について



1. 代表者会議とは

各地域検討会議の代表者で構成し、「学校位置」、「統合時期」、「学校名」、「校歌・校章」などについて話し合います。

2. 委員選出について

各地域検討会議から8名程度を選出

【区分ごとの選出（案）】

「保護者代表」から3名

「地域住民代表」から1名

「学校関係者」から1名

「福祉関係者」・「青少年育成関係者」から1名

「その他教育委員会が認める者」から2名

※備考

- ・会議は5回程度を予定（1回目の会議は1月～3月頃実施予定）
- ・年度が変わり役職がなくなった場合、原則は引き続き会議に参加していただきたいが、後任の者へ引き継ぎをして委員を交代することも可とする。